

国連の沖縄の非自治地域としてリストアップへの動き

1. C-24（国連脱植民地特別委員会）第1回 本会議：主権侵害に向けた論理的布石（重要発言一覧）（2026-02-16）

- 第1回本会議において、沖縄を「非自治地域（植民地）」としてリストアップするための実務的ルール変更が宣言されました。

【公式動画リンク】 [UN Web TV - C-24 2026 Session 1st Meeting](#)



【C-24（国連脱植民地化委員会）本会議：主権侵害に向けた論理的布石（重要発言一覧）】

番号	発言主体	英語による発言 (English Original)	日本語訳 (Japanese Translation)	そこに隠された戦略的 意図 (Strategic Intent)
1	事務総長 官房長 (03:10)	"In December, the committee marked the first International Day against colonialism in all its forms and manifestations."	昨年12月、委員会は「あらゆる形態および現れにおける植民地主義に反対する初の国際デー」を祝いました。	中国が構築した「恣次の解釈が可能な新しい定義」が、国連の公式方針として追認された事実を意味する。
2	ランバリ ー議長 (11:19)	"it is vital that we maintain an open dialogue not only with the administering powers but also with the	施政国だけでなく、地域自身との開かれた対話が不可欠です。	日本政府および沖縄県議会を排除し、分離派活動家を「直接の交渉相手」に昇格させ、日本の窓口権を無効化する。

		territories themselves."		
3	ニカラグ ア代表 (26:05)	" Experts are essential tools in our common effort to eradicate colonialism."	専門家 は、植民地主義を根絶するための我々の共通の努力における不可欠な道具です。	反日的な活動家を「専門家」として公費で招き、その証言を国連公文書に固定化するための仕組み。
4	キューバ 代表 (32:41)	"rejecting new colonialist and hegemonistic practices is a moral obligation."	新たな植民地主義的、および覇権的な慣行 を拒絶することは道徳的義務です。	日米同盟や基地の存在を「覇権的慣行」と定義。基地撤去を人類の道徳的義務にすり替える。
5	ベネズエ ラ代表 (42:14)	"Solidarity must extend beyond the current list of 17 territories to others who still seek self-determination."	連帯は、現在の 17のリストを超えて 、自決を求める その他の人々 にまで及ばなければなりません。	【重要：侵略の地ならし】 従来の17地域の枠を撤廃。一般的レトリックを装い、沖縄への介入を「合法化」するための宣戦布告。
6	ベネズエ ラ代表 (43:40)	"It is vital to identify newly emerging colonial situations and ensure that the right to self-determination is upheld."	新たに浮上しつつある植民地状況 を特定し、自決権を維持することが不可欠です。	沖縄を念頭に、これまでの「日本の領土」を「救済すべき新たな植民地問題」へと国際的地位を変更させる命令。
7	ベネズエ ラ代表 (48:26)	"We are prepared to weigh different scenarios if need be."	必要であれば、 異なるシナリオ を検討する準備ができています。	日本やG-7が反対しても、グローバルサウス諸国の「数」の力（多数決）で強行採択を行うという恫喝。

2. 国連人権理事会での王毅外相演説（2026-02-23）

- 王毅外相のスピーチは、C-24 での実務工作に政治的正当性と動員力を与える「侵略の号令」です。

【外交部公式文書リンク】 [中華人民共和国外交部 - 王毅外相スピーチ \(2026年2月23日\)](#)



【王毅外相スピーチ（全文対訳）】

番号	中国語原文 (Chinese Original)	日本語対訳 (Japanese Translation)	戦略的意図の解析 (Strategic Intent)
W1	主席先生，各位同事： 当前，国际形势错综复杂...越要高举多边主义旗帜，携手勇毅前行。	議長、同僚の皆様。現在、国際情勢は複雑。風雨が激しい時ほど 多国間主義 の旗を掲げ、前進すべきです。	既存の戦後秩序（SF 平和条約等）を「個別の国家の強権（日米）」と批判。破壊のための新公理を提示。
W2	去年9月，习近平主席郑重提出全球治理倡议...倡议落实迈出坚实步伐。	習近平主席は GGI を提唱。 150 以上の国と組織が支持しています。GGI は中国の知恵で人権統治をリードします。	【150カ国の動員】日本やG-7が反対しても「数」でルールを塗り替える体制の誇示。（関連：7）
W3	第一，我们要奉行主权平等...更多傾聽全球南方的呼声和訴求。	第一に 主権平等 を奉じねばなりません。各国の平等な参与を堅持し、 グローバルサウスの声と訴え をより多く傾聴します。	西側諸国の法理を「 少数意見 」として排除。 グローバルサウスを唯一の窓口 にすり替える。（関連：2, 3）
W4	第二，我们要遵守国际法治...对以人权名義操弄双重標準的言行堅決說不。	第二に 国際法治を遵守 せねばなりません。人権は覇権を粉飾するために用いられてはなりません。	「国際法治」を名目に西側秩序を解体。日米同盟を「 覇権 」と攻撃し日本の防衛権を否定する。（関連：4）
W5	第三，我们要踐行多边主義...推動摒棄各種形	第三に 多国間主義 を実践せねばなりません。 あら	【重要】「あらゆる形態の植民地主義を排斥」と明

	式的殖民主義、種族岐視。	ゆる形態の植民地主義や人種差別を排斥すべきです。	言。C-24 と連動し沖縄のリスト入りを正当化。（関連：1, 5, 6）
W6	第四，我们要倡导以人為本...妥善解決人民群眾最緊迫最現實關切。	第四に人間本位（以人為本）を提唱せねばなりません。人民大衆の最も差し迫った現実的な関心を解決すべきです。	「人間本位」を掲げ基地負担を人道問題化。法的主権論を避け、「生存権侵害」として介入を誘導。（関連：1）
W7	第五，我们要注重行動導向...為發展中國家人才培訓和能力建設搭建新平台。	第五に行動志向を重視せねばなりません。保護は行動に移すべきです。中国の人権理念を共有し、「途上国の人材育成と能力構築のための新たなプラットフォームを構築」しました。	【決定的な実力行使宣言】行動（Action）は沖縄リスト入りへの号令。活動家をエージェント化する拠点構築。（関連：2, 3）
W8	主席先生，各位同事，2026 年是中國“十五五”開局之年...讓人權文明的發展進步造福全世界。	2026 年は中国の「第 15 次五カ年計画」の開始の年。我々は全人民の共同富裕を確実に推進し、人権文明の進歩が世界中に恩恵をもたらすよう努めます。	沖縄の日本からの切り離しを、中国の国家戦略である五カ年計画の成果に組み込む意欲。（関連：W1, W2）